

「北村慈郎牧師の処分撤回を求め、ひらかれた合同教会をつくる宣言」

私たちは歴史を導き給うイエス・キリストの主権を信じ、「戦争責任告白」を明らかにした日本基督教団として、現在の急速に右傾化する日本国家のあり方に深い憂慮を覚えるものであります。この時に当たり、日本基督教団現執行部が歴史的な教会の責任を無視するかのごとく、会議制の無視と権威主義的な強権発揮により、北村慈郎牧師との十分な対話をする事なく、免職処分に至ったことは誠に遺憾と言わざるを得ません。北村牧師が手続きの不当を人権問題として提訴した裁判は、残念ながら内容審議に至らず最高裁の上告棄却という結果で終了しました。私たちはこのことを、事柄を徹底して教会の問題として自主的に解決せよとの促しとして積極的に受け止め、ここに「ひらかれた合同教会としての教団」をつくる決意を新たにしました。まず、何よりも処分の撤回と対話を求めます。

日本基督教団は歴史の中に建てられた教会です。「教団信仰告白」及び「教憲教規」は、教団成立の歴史的経過の中で定められたもので、「絶対的な」信仰基準として閉ざされたものではありません。「解釈相互間の争点については、法的処置の前に、必ず神学的論議の領域が設定されねばならない」(1954年10月26～29日開催第8回教団総会「信仰告白制定特別委員会報告」と歴史的発言にあるように、信仰的対話に開かれたものです。北村牧師の信仰的選択の背景には、釜ヶ崎や山谷と同じ寄せ場である「寿地区」に象徴される権力や社会構造によって虐げられた人々が存在し、その地域への福音宣教を使命とする教会の決断があります。そこでは「聖餐」のあり方も問い直されるべき重要課題であり、法的処置の前にまず神学的・教會的討論に開かれるべき現代的な課題です。それは同時に全国各地の地域各個教会の課題でもあります。その各個教会のかなりの部分は、国家が戦争協力を強いるための「宗教団体法」による教団統合以前の教派の諸伝統を負っており、またはじめから合同教会として教会形成をしてきている教会もあります。ここに教団が今なお形成途上の「合同教会」である所以があります。そこでは、開かれた対話こそが、教団を「教会」たらしめます。また、教団成立を含め「戦争協力」という過去の責任をふりかえり、戦争体制がつけられつつある現在への責任を受け止めるため、「戦争責任告白」は今改めて取り上げるべき対話のテーマです。さらに、「本土」と「沖縄」の関係史における構造的差別の中で、私たちの教団もまた、「沖縄教区との断絶」という痛恨の事態を作り出しており、この現状を打開するための開かれた対話が何よりも必要となっています。

私たちは、教団の会議制がその内実を失って硬直したままである現在、教団の法的構成員であるからこそ、それに先立って、信仰の召命に基づき「キリストの前での自分」に立ち返り、「ひらかれた合同教会としての教団」をつくる教會的責任を負っています。この責任を果たすために、以下5項目を掲げて、ここに「北村慈郎牧師の処分撤回を求め、ひらかれた合同教会をつくる宣言」をいたします。

- 1、北村慈郎牧師の免職処分の即時撤回と教団教師としての復権を求めます。
- 2、聖餐についての論議の場が設定されることを求めます。
- 3、「戦責告白」の教団史における意義を踏まえ、歴史に向かい合う教団となることを求めます。
- 4、沖縄教区に対する謝罪と関係回復への具体的作業を求めます。
- 5、一方的な「合同教会」の主張を再考して「合同教会」の形成を求めます。

2015年4月18日

北村慈郎牧師の処分撤回を求め、ひらかれた合同教会をつくる会
代表 関田寛雄

【賛同者】

齊藤圭美、沖田忠子、小海基、勝亦一江、伊東永子、北村千賀、岩橋常久、久保博夫、岡安博、北村慈郎、高橋史子、渡辺晋、岡安茂祐、瀬戸英治、気賀健生、秋吉隆雄、山本昇平、佐々木允子、加藤真規子、武田利邦、小島道彌、小島真理子、大谷義彦、有森和可奈、村瀬汎昭、佐々木泰雄、篠木孝、森野善右衛門、一條英俊、山村恵美子、宮川喜代子、岩井健作、古郝莊八、山本昌実、秦克彦、三森妃佐子、須永祥雍、和田忠典、金子芙美子、野沢香代子、渡辺英俊、石崎秀行、佐々木雅子、三宅和夫、熊田郁子、山口泰彦、田中夫伎子、平井俊江、工藤玲子、依田康子、関田寛雄、山口徳江、飯田さかえ、片山禎二、井上巖、最上光宏、永沼昭子、高柳富夫、大塩清之介、渡辺幸子、泉谷厚、谷口尚弘、谷口悦子、泉谷五十鈴、菅根信彦、渡部展夫、池田照幸、原田伸子、辻野禎胤、村瀬喜久子、西崎紀代、藤巻恵子、龍口奈里子、今井直子、黒川 純、竹内憲一、片山洋子、山村恵美子、北村恵子、真鍋孝幸、宮原雄一、亀岡顕、鈴木重正、坂 敬夫、阿佐光也、松井直樹、佐原 眞、佐原繁子、市川義和、市原和彦、羽賀早智子、井波いく代、竹内忠美、長野和範、三宅義人、中野順子、青山博光、市川和子、関本達也、吉田慈

(2015年5月20日現在 100名)